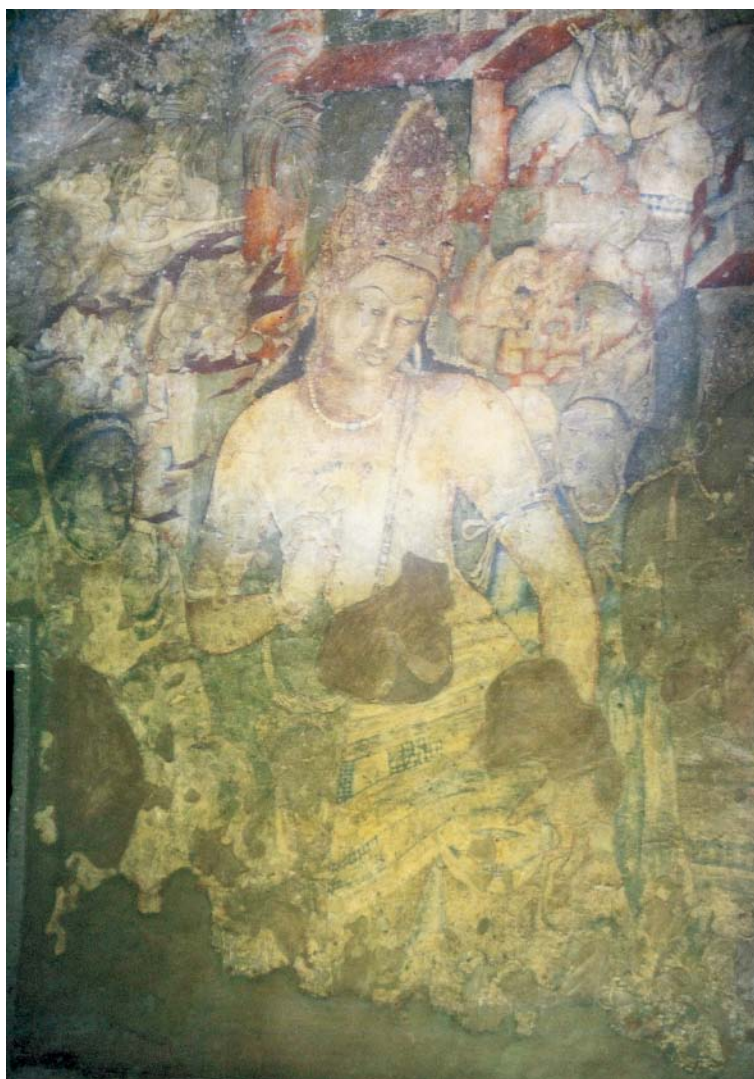


福井県医師会

だより

第643号 平成27年(2015)1月

新春特集号



アジャンタ第一号石窟 蓮華手菩薩

福井市 吉村 信

表紙写真説明：アジャンタ第一号石窟 蓮華手菩薩

福井市 吉村 信

法隆寺金堂壁画（1949年火災で消失）の源流とされる、印度、アジャンタ第一号石窟蓮華手菩薩は、千数百年の歳月を経たにもかかわらず、華麗な宝冠を被り、奥深い石洞内の主尊の右側を護るかのように、薄暗い照明の中に婉然と浮かび上がっていた。インド美術固有の、三屈法によって描かれた菩薩は、モナリザに通ずる不思議な笑みを浮かべ、周囲の精緻極まる本生譚と相俟って、神秘的な空間を形成していた。

佛教美術最高の絵画と言われ、数有る世界遺産の中でもトップクラスとされるのも宜なるかなと思われた。

元朝に 蓮華手菩薩 ^{とわ}永久の笑み

新 年 の ご 挨拶

福井県医師会長 大 中 正 光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族・職員お揃いで決意を新たに良き新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

安倍内閣は社会保障に充てる見込みで今年10月に予定していた消費税10%への増税を2017年に先送りし、まさかの、にわかの衆議院解散総選挙を昨年末に挙行了。その結果、高齢化が進む中、公的な医療保険制度（年金、医療、介護、子育て）を維持するための財源確保が困難となった。日本医師会は公式にはこのことを大変憂慮したが、一方、与党税制調査会から指摘されていた「医療界の消費税に対する不一致」を是正する時間が出来たとの意見もある。衆議院総選挙に際して県医師連盟は日本医師連盟の要望通り福井県選挙区1区、2区共政権与党の自民党候補に対し政策協定を結んだ上で推薦した。しかし、多くの会員は忤怩たる思いもしている。稲田前大臣には日医会長からの要請もあり、私はそれなりに接触もさせていただき、最終的には難題の妥協点を付けて頂いた。これには大変感謝しているが、今後とも、県選出国會議員の皆様の活動が我々医師会員の期待に添うように願っている。

2014年地域医療・介護総合確保基金（904億円）の交付が昨年11月に公表された。1）「病床の機能分化・連携に関する事業」174億円、2）「在宅医療の推進に関する事業」206億円、3）「医療従事者の確保・養成に関する事業」524億円、が配分された。都道府県に予定された交付先は、民間機関74.1%、公的機関25.9%である。福井県は8.4億円であった。これはしばらく継続される。計画には自己資金も必要であるが、県内の医療機関の皆様方も慎重に計画をされ申請してください。県医師会は協力を惜しみ

ません。

今年度より病床機能報告制度を基にしたの地域医療構想（ビジョン）作成が本格化する。これは、ある面では行政主導の医療提供体制の再編である。

そして、この構想策定の協議の場として、これから地域医療構想調整会議が設けられることになるが、このほど明らかになったガイドラインによると、その調整会議の運営について、1）議事…「病床機能と病床数」、「病床機能報告制度の情報共有」、「地域医療・介護総合確保基金に関する都道府県計画」、「地域包括ケアや人事確保、診療科ごとの連携などビジョン達成の推進」、2）開催時期、3）設置区域…「ビジョンを策定する（構想区域）ことを原則とし、都道府県知事が適当と認める区域での設置も可能」、4）参加者の範囲・選定、参加担保…医療法の規定通り医師会や病院団体、医療保険者などを基本に、議事によっては柔軟な参加も求めること可、協議された内容や結果は原則公開、5）合意の方法・履行の担保、などが含まれている。これは平成30年の第七次福井県医療計画作成の基本となり、有床診療所から大学附属病院も含めてそれぞれの医療機関の存亡にかかわる問題である。

市町村単独事業としての乳幼児等医療費助成制度（子どもの医療費無料化）は、1）通院・入院での区別、2）所得制限の有無、3）一部自己負担の有無、3）支給方法（現物給付／償還払い）などの違いがある。福井県の全市町村では、一度医療機関の窓口で一旦自己負担分を支払う「自動償還払い」で行われている。少子化対策として「保育料又は幼稚園費の軽減」に次いで「乳幼児の医療費の窓口無料化」が望まれている。2種類のモラルハザード、1）病気

を予防する注意や努力を怠りがちになる、2) ちょっとした病気でも医療サービスを受けようとする、の negative effects があるものの、全国的には多くの市町村で現物給付が行われている。是非、福井県でも全市町村で多くの県民が望んでいる「現物給付」にして頂くため他の団体とも協調して運動していきたいと考えている。子ども・子育て支援は地方創生の有力な手段と考える。

県医師会館の新館立替え建設は紆余曲折があったが予定通り進行している。昨年12月中頃の時点で一部柱のみとなっているのを見てその規模の大きさが実感された。本館解体が終わり次第1月下旬には起工式を行い、いよいよ建設工事が開始され、今年の11月には建物は

完成し、新館本館の供用が開始される。その後別館が解体され駐車場等外回りが整備されるのは翌年（平成28年）の2月初めを予定している。会員の皆様方にとって待ち遠しかと思われる。県医師会会員はもちろんのこと、福井市医師会、県医師協同組合、県医師信用組合、また、福井県、福井市、松宮設計事務所、村中建設、福井銀行、その他医療関係者の多大なご援助によりこの大事業が可能となった。感謝すると共に期待通り進行することを願っている。

新年が県医師会会員皆様方とご家族並びに従業員の皆様と、また、福井県民の皆様方にとって素晴らしい年でありますように願っています。今後とも、県医師会の事業運営に全幅の御協力をお願い申し上げます。

謹 賀 新 年

福 井 県 医 師 会

平成27年 元旦

副 議 監
議 長 “ 事
長

理 副 会
事 “ 会 長
長

汐吉 榊奥 腰新 芳月 吉木 伊廣 小越 荒安 貴坪 柏野 辻 宇 広 末 池 奥 大
見村 原村 地谷 野岡 田水 部瀬 林野 井原 志川 原村 治 瀬 松 端 村 中
俊光 一良 孝拓 佳幹 正 晃龍 達雄 正修 洋俊 謙元 哲行 真哲 幸雄 正
一生 郎二 昭也 克雄 美潔 裕吉 治祐 雄郎 一仁 悟積 朗雄 紀男 彦外 光